



かめやま文化年 2020

かがやく集大成

かめやま文化年 クロージングを迎えました!!

「かめやま文化年プロジェクト」では、2014年度から3年ごとに「みつめる」、「つながる」、「かがやく」とテーマを決め、まちを挙げて文化に関するさまざまな取り組みを展開してきました。そして、かめやま文化年2020では、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止になる中でも、これまで培ってきた文化に「創意工夫」を加えて文化資源の価値をさらに高めることや、さまざまな人や団体が「自己実現」により満足感や達成感を感じて生き生きと輝くまちの実現を目指し事業を実施しました。

このプロジェクトはいったん幕を下ろしますが、「文化のあかり」を絶やすことなく、これまでの取り組みや多くの人々の関わり、交流により世代を超えて受け継がれてきた絆を継続、発展させ、新たな展開へとつなげていきます。

問合せ先 文化スポーツ課文化共生グループ (☎96-1223)



かめやま文化年イメージキャラクター
カメのぶんちゃん

◎かめやま文化年2020の主な取り組み

7月 市関係事業
8月 ヤマトタケルノミコト オトタチバナヒメ
日本武尊・弟橘媛ゆかりの地 PR展示

「遙かなる、時をこえて 亀山市～「まち×未来」でみえること。～」と題し、亀山市と日本書紀に出てくる日本武尊の関わりを中心とした特別展示を津駅前ショーウィンドウで行いました。



8月 市関係事業
10月 **鈴鹿峠自然の家 天文台「童夢」10周年記念事業**

鈴鹿峠自然の家 天文台「童夢」の10周年を記念して、天体観測会を開催しました。

また、登録有形文化財(建造物)である鈴鹿峠自然の家をスクリーンに見立ててプロジェクションマッピングを行い、文化財、光、音による幻想的な世界を楽しんでいただきました。



9月 シチズンプログラム
2月 **亀山・関まちかど博物館 ～珍しいコレクションの展示～**

まちかど博物館とは、一般的な博物館とは異なり、個人が収集した美術品・骨董品・手芸品などを展示している博物館のことで、個性豊かなコレクションを介して、文化や歴史に触れていただく機会となりました。



9月
12月

市関係事業

第35回企画展 ～ 日本書紀編さん1300年 ヤマトタケル ― その愛と死 ― ～

日本書紀編さん1300年を記念して、「ヤマトタケルノミコト」をテーマにした企画展示を行いました。



10月

シチズンプログラム

第12回 関宿スケッチコンクール

関宿のまちなみの素晴らしさをあらためて知ってもらうため、関宿一帯を対象にしたスケッチコンクールを開催しました。

11月
2月

パブリックプログラム

かめやま街あかり

コロナ禍でも市民が笑顔になれるよう、市民や市内企業等と連携して、市内5カ所でイルミネーションや医療従事者への感謝を伝えるブルーライトアップなどを実施しました。



特に市文化会館では、市の歴史と自然をテーマにしたイルミネーションやメッセージキャンドル、市内在住作家によるアートキャンドルを用いて幻想的で美しい空間を創り出し、市民の皆さんに楽しんでいただきました。



10月

パブリックプログラム

かめやま歴史の道ウォーキング

江戸時代の面影を色濃く残した「亀山宿・関宿」のおよそ8.5kmのコースを実際に歩き、亀山市の歴史や文化を知っていただくと同時に、楽しみながらウォーキングをすることで健康への関心を高めていただく機会となりました。



11月

シチズンプログラム

市民参加型 亀山ミュージカル事業

亀山市文化大使の小嶋希恵さんが総合プロデュースを務め、室町時代に鈴鹿峠を拠点としていた伝説の女性盗賊「鈴鹿御前」をテーマにした「鈴鹿御前～ふたつの心～」(脚本：一般公募)と、市にゆかりのある「日本武尊」をテーマにした「～日本書紀 編纂1300年～亀山・今昔・物語」(脚本：小嶋希恵)の2つの作品を上演しました。

遠方にいるプロキャストが出演する動画をスクリーンに映し、目の前の舞台上で融合させるという斬新な演出で観客を魅了しました。



12月

シチズンプログラム

第39回 さいまつコンサート

新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客で開催し、大阪交響楽団は録画映像での出演になる中、市内音楽団体による演奏や、亀山市文化大使の寺岡清高さんの指揮による「第九」の合唱などが行われました。多くの人に魅力あふれる歌声や音楽に触れていただく機会となりました。



かめやま文化年2020にご参加いただいた皆さん、ありがとうございました!